

日高地域における搬出間伐（列状）の普及推進に向けた取組について

北海道森林管理局 日高北部森林管理署  
一般職員 佐々木 颯  
北海道 水産林務部 林務局 森林計画課  
主査 鳥居 宏臣

（元 北海道日高振興局 森林室・平取事務所）

## 1 課題を取り上げた背景

北海道の中央南西部、日高山脈の麓に位置する日高地域の山林は急峻な地形が多く、農地と林地が隣接していることにより、伐採木の搬出等が困難な環境も多くあります。そのため、当地域の民有林における間伐は、従来より切り捨てが主体となっており、特に日高町日高地区では搬出間伐の実績が全くありませんでした。このような状況の中、北海道日高振興局森林室平取事務所及び沙流川森林組合、日高北部森林管理署が連携し、当地域における列状による搬出間伐の普及と列状間伐の実施事例の増加を目的に取組を進めることとしました。



日高管内図

## 2 取組の経過

### （1）現状の把握

#### ①間伐予定箇所の林分調査

簡易な標準地調査を行い、「森林の健康診断書」を作成しました。

#### ②ドローンを活用した現況把握

対象地の面積6.16haをドローンで動画や写真を撮影し、よりわかりやすく森林所有者へ現況を見せるため、3D画像等を作成しました。

### （2）列状間伐勉強会の実施

列状間伐について理解を深めてもらい、懸念や不安を少しでも払拭する

ことを目的に、国有林内において2年前に列状間伐を実施した箇所と間伐作業実行中の箇所を実際に見てもらい、施業概要等の説明を行いました。

### （3）森林所有者へ施業提案

標準地調査及びドローンでの現況把握から得た林分の現況や今後の施業方針、間伐時の伐採列・路網等の具体的な施業方法、事業実行にあたっての事業費や交付金等についての説明と提案を行いました。



施業提案時の様子

## 3 実行結果

（1）対象の森林所有者からは搬出（列状）間伐への理解を得ることができ、当該箇所において平成30年度に列状間伐を実施することとなりました。  
（2）近隣の森林所有者へ戸別訪問を実施し、この取組を紹介したところ、5名から賛同の声が上がり、合計約41haを集約できる方向となり、平成30年度から34年度の列状間伐計画を立てることができました。

## 4 今後の展開

### （1）成果の見える化

各年度の列状間伐の実行結果等を対象者に周知し、一連の取組について他の地区の森林所有者にも情報を提供していきます。

### （2）連携の継続

ドローンの活用や国有林が持つ実績等を活かした協力体制を継続するとともに、関係機関との連携をより一層強化し、搬出間伐の更なる普及推進を目指していきます。

## 5 現在の動き

国有林へのニーズを把握することを目的に森林所有者へ向けたアンケート調査の実施と、希望者数名を対象に各関係機関と共同で国有林における末木枝条集積作業の見学会を行うなど、より多くの方から搬出（列状）間伐への理解を得るため、取組を継続・発展させています。